

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム じねん

目標達成計画

作成日: 令和 2年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		日常業務が優先になりがちになってきている。利用者の思いや今を推察し、考えることが少なくなっている。また職員同士が相手を思いやりいいこと探しを行っていく	「思いやりの心をはぐぐむ」	利用者のできることできないことを見極め、状況判断できる。いいこと探しを継続していく。ともに働く仲間同士を認め合う	12ヶ月
2		利用者や職員間での慣れあいが出てきているため、利用者への尊厳の心が時には連れてしまう	尊厳なる気持ちをもって、常に相手にとり(周囲の方にも)、こち良い言葉を使用する	尊厳なる心を常に持つ。誰が聞いても心地よい言葉遣いができる。職員間での言葉使用にも注意しあう。常にお年寄りとして、人間として恥ずかしくない行動がとれるように、配慮をしていく。	12ヶ月
3		業務が円滑にできていない。書類や文具、物品等が乱雑になってきている。環境美的にも見苦しい。	整理整頓ができる①職員サイド②利用者の居室③ホーム全体	出勤時、退勤時にフロアの整理(事務所)を習慣づける。利用者と一緒に朝、10分間の清掃タイムを設ける。心地よい環境について会議にて話し合う(振り返りを行う)居室担当者は常に担当居室に気を配る	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。